

2025年度 名 画 鑑 賞 会

上映月日	上映作品	出演他	種別	製作年	上映時間
4月11日(金曜日)	植村直己物語	出演: 西田 敏行 監督: 佐藤 純彌	邦画	1986年	140分
(開場:午後1時15分) 上映開始:午後1時30分					
7月18日(金曜日)	大地のうた	出演: シュビル・ボンド・パッタエ 監督・脚本: サタジット・レイ	洋画	1955年	125分
(開場:午後1時15分) 上映開始:午後1時30分					
10月10日(金曜日)	大河のうた	出演: ピナキ・セン・グプト 監督・脚本: サタジット・レイ	洋画	1956年	104分
(開場:午後1時15分) 上映開始:午後1時30分					
1月16日(金曜日)	大樹のうた	出演: ショウミットロ・チャタージ 監督・脚本: サタジット・レイ	洋画	1959年	98分
(開場:午後1時15分) 上映開始:午後1時30分					

作 品 紹 介 (パッケージより)

植村直己物語

1973年、グリーンランドでの訓練から一時帰国した植村は、野崎公子という女性と出会い、自分の書いた本を手渡す。植村は大学時代、優れた登山家である友人の小川の誘いで初めて雪山登山に挑むが、そこで失態を演じた彼は、猛トレーニングを開始した。4回生の時、小川のアラスカでの経験を聞いた植村は、海外への憧れを強く抱くようになり、就職もせず、海外へ飛び出した。フランスで小川たちのグループからヒマラヤ登頂を誘われた植村は、期待に応え登頂に成功する。その後は単独での登山を続け、ついには五大大陸の最高峰単独登頂に成功。目的を山から極地へと転換することとなった。公子と結婚した植村だが、冒険への意欲は全く衰えることがない。彼は、南極を犬ぞりで横断する計画を立てるのだが……。

大地のうた

黒澤明「羅生門」とともにアジア映画を広く世界に認識させたインド映画の金字塔。監督サタジット・レイは少年オプーの目を通して人生と死、インドの階級制度、貧困と悲慘さを描いている。

母と姉、オプーは、職探しに出た父の留守宅を3人で預かっていた。姉はある日、雨にうたれたことが原因で風邪をこじらせあつてなく亡くなってしまう。仕事にありつけないまま、半年ぶりに戻った父は、荒廃してしまったわが家の惨状に驚愕する。深い失意のなか、都会へ移住する決心をした親子3人をのせた牛車が、夜明けの故郷をあとにする。

大河のうた

「大地のうた」につづく三部作の第二部。青年オプーがたどる成長と苦悩の遍歴を描く。

都会に出た一家の暮らしは相変わらず貧しく、父は病を発症し死去する。成績優秀なオプーに転機が訪れ、奨学金を得て大学に進学することとなり、大都会で一人暮らしを始める。故郷に戻り、オプーの成長だけを心の支えにする母親は、息子とのすれちがいから精神を病み、再会を果たすことなく亡くなってしまう。天涯孤独となったオプーは、村に残れとすすめる親族の誘いを断り、大都会での生活を選択する。

大樹のうた

両親を失ったオプーは大学を卒業し、就職難と闘いながら作家を志し自伝的小説を書きはじめる。偶然出会った裕福な娘と結ばれ、幸せな新婚生活が始まるが、妻は早産が原因であつてなく他界してしまう。失意のどん底におちたオプーは、書きかけの原稿を破り捨て、放浪の旅に出る。

時は流れ、オプーは亡き妻が遺した見知らぬ息子に出会う。最愛の妻の死の原因となった息子に最初は複雑な感情を抱くオプーであったが、息子との心の距離を少しずつ詰めていく。やがて父オプーと息子の間には、大樹のような、ゆるぎない親子の絆が結ばれてゆく。

こども映画会

上映月日	上映作品	出演他	種別	製作年	上映時間
4月20日(日曜日) 子ども読書の日 映画会	こねこのぴっち	原作: ハンス・フィッシャー 監督: 森田和夫	アニメ	2008年	30分
(開場:午前10時15分) 上映開始:午前10時30分～					
8月6日(水曜日) 夏休み子ども映画会	よいこのアニメ広場 かぐやひめ他	企画・制作: アストロシステムジャパン(株)	アニメ		36分
(開場:午前10時15分) 上映開始:午前10時30分～					
11月2日(日曜日) ひめじ子ども読書週間 映画会	藤城清治・影絵劇 ブレーメンのおんがくたい	制作: ホリプロ	アニメ	2007年	40分
(開場:午前10時15分) 上映開始:午前10時30分～					

作品紹介 (パッケージより)

こねこのぴっち

リゼットおばあさんと暮らす仲間たち。その中で一番小さいこねこのぴっちは、好奇心旺盛でかんばん。みんなとおなじことをするのが大嫌いでした。ある日、他の動物に憧れて家を出ていきます。自分とは違うさまざまな動物に出会うたびに、憧れて真似をしますが、ことごとく思うようにいきません。自分探しの短い旅の末に、ありきたりのことの素晴らしさ、家族の温かさ、友達の優しさを、ぴっちの小さな胸が感じ取っていきます。幼児の象徴ぴっちの気持ち、幼児にはダイレクトに伝わり、おとなには、ぴっちのいたいけさが、愛しく、心にしみわたります。

よいこのアニメ広場

親から子へと語り継がれてきた懐かしい日本のむかし話。そのお話の中には、今日では忘れがちないろいろな教えがたくさん盛り込まれています。たのしい映像を見ながら自然に小さいお子様たちにも伝わると思います。ご家族皆様でごらんになれば、団らんの輪も広がるでしょう。

1 かぐやひめ 2 はなさかじいさん 3 つるのおんがえし

藤城清治 影絵劇

楽しさと感動にあふれた、影絵と音楽が紡ぎだすハーモニー。音楽影絵劇の名作を、ハイビジョン撮影の美しい映像で収録。

- ・ブレーメンのおんがくたい グリム童話を原作にした影絵ミュージカル
- ・スカンクカンクプー スカンクの坊やのユーモアあふれるおはなし
- ・海に落ちたピアノ スウェーデンの文豪ストリンドベリーの幻想的な物語

会場／日本城郭研究センター 2階 大会議室（姫路市本町68-258）

主催／姫路市立城内図書館 電話：079-289-4884

入場は無料です